

# 今後の地方インフラは

## 技術士会中国 上下水道部会 Web交え講演会

日本技術士会中国本部  
上下水道部会は8月21  
日、広島市内で2021  
年度例会・講演会を開催  
した。全国上下水道コン  
サルタント協会中国・四  
国支部との共催。官学の  
3者が講演した。新型コ  
ロナウイルス感染症対策  
として、岡山市、津山市、  
鳥取市、松江市にWeb  
中継会場を設けて分散開



永禮教授

催したほか、インターネ  
ットでも動画配信。同本  
部のほか、統括本部(東  
京)、近畿本部、北陸本  
部、富山県支部でもWeb  
配信した。

今年度から部会長に就  
任した若岡信利氏は「当  
部会の講演会は今回で7  
回目。今回の講演会は上  
下水道事業と新手法・技  
術がテーマ。貴重な知見  
を活用していただけれ  
ば」とあいさつした。

下水道への転換」に対す  
る課題の一つとして、民  
間が開発した新技術が前  
例がないなどの理由によ  
り導入が進みづらいこと  
を挙げた。この課題に対  
し、公平・公正で公共マ  
インドがあつて事業を熟  
知している「補完者」の  
存在が重要と話し、補完  
者としての技術士会会員  
の活躍に期待を寄せた。

広島市水道局技術部設  
備課の平賀学浄水係長は  
「広島市水道事業におけ  
るリスク対応策」と題し  
講演。過去の災害を受け、  
配水池容量を12時間から  
14時間に増強するといつ  
た独自の取組みを紹介。  
また浸水想定に伴い、取  
水場・浄水場の浸水対策  
を順次実施しており、現  
在は高陽取水場で防水壁  
・防水扉の建設、管理棟  
水密化、電線管等からの  
逆流防止の対策を進めて  
いる。土砂災害警戒区域  
内の施設では定期的に法  
面安定度調査と補修・補  
強を行っている。

岡山大学大学院の永禮  
英明教授は「これからの  
地方の水インフラ」と題  
し基調講演。「新しい上

下水道への転換」に対す  
る課題の一つとして、民  
間が開発した新技術が前  
例がないなどの理由によ  
り導入が進みづらいこと  
を挙げた。この課題に対  
し、公平・公正で公共マ  
インドがあつて事業を熟  
知している「補完者」の  
存在が重要と話し、補完  
者としての技術士会会員  
の活躍に期待を寄せた。

このほか日本下水道事  
業団の倉本喜文事業管理  
審議役兼西日本本部事業  
管理室長が「日本下水道  
事業団におけるBIM/  
CIMへの取組み」と題  
し講演した。

講演会に先立ち開催し  
た例会では、今回の講演  
会開催のほか、統括本部  
(東京)の上下水道部会  
の講演会を4回程度We  
b中継するなどの事業計  
画案を決定した。今月24  
日には、日本水道協会工  
務部の笹川恭明水質課長  
の新型コロナウイルス等  
に対する水質管理の講演  
を中継する予定。

講演会に先立ち開催し  
た例会では、今回の講演  
会開催のほか、統括本部  
(東京)の上下水道部会  
の講演会を4回程度We  
b中継するなどの事業計  
画案を決定した。今月24  
日には、日本水道協会工  
務部の笹川恭明水質課長  
の新型コロナウイルス等  
に対する水質管理の講演  
を中継する予定。